2017, 11, 19 紅葉の駒ヶ岳・池原山トレッキング記録 (NO. 1 2 3)

下見の時、丸太橋が雨や雪では滑って危ない状態だったので、ろくろ橋から登りました。きれいな黄葉・紅葉にウットリしながら周囲の景色を楽しんだり、ナメコの収穫を楽しんだり、時に雪が舞いと変化に富んだ山歩になり高島市が誇るブナ原生林の様々な様子を堪能したハイライトコース、「みなさん、良かった」と大満足。帰りに安曇川の泰山寺の農家中村さんに寄り、大根・キャベツなど購入、「大根は1本50円でした。安いでしょう」と、重そうに持っておられました。そして、道の駅藤樹の里あどがわに寄り、お土産購入など楽しみました

◆歴史① 木地山

木地山は旧村名を轆轤(3く3)といい、中世以来、明治初期に至るまで長く木地業が盛んだったところで、木地師達が木地師根元地として知られた近江の愛知郡蛭谷村(滋賀県神崎郡永源寺町)から移住して住み着き、膳、盆、銚子・木鉢などを製作して各地へ売捌いた所です。

また、領主朽木氏の命を受け、盆及び銚子を製作したので、管内至る所の橡 $(\mathbf{F}_{\mathbf{F}})$ 及び山毛欅 $(\mathbf{F}_{\mathbf{F}})$ の材木伐採が許されたといいます。

全国の木地師支配のため実施した木地師の氏子狩は、天正 14 年 (1586) ここで初めて行われ、戸主数 21 が記されています。このため氏子狩には、常に帳始めとして筆頭に巡回を受けました。

◆歴史② 炭焼き窯跡 駒ヶ池の周りには、炭焼き窯跡がいくつもありました。「こんなに標高の高い所でどのようにして、炭を運び出したのでしょうか。」「きっと雪を利用して運び出したのでしょうね」など歴史ロマンも話題になりました。

◆トレッキングの様子







ろくろ橋

きれいな黄葉・紅葉・・・・・楽しみながら駒ヶ岳西尾根を目指す







「良いね・・」・・

「日本庭園のようでしょう。」

素晴らしいブナ原生林

高島市の奥山は、琵琶湖の水量の38%を育んでいます。琵琶湖は、近畿1450万人

の命の水源です。







谷底までの紅葉・黄葉・・・実に素晴らしい。

ここも日本庭園のようでしょう。 雪景色も良いね









雪が少し舞い、「良いね」「寒いね」。もうすぐ西尾根。

駒ヶ岳西尾根、積雪が多くなる。初雪体験だ。



福井県側の眺望



駒ヶ岳山頂にて



滋賀県側の眺望



黄葉と雪景色を楽しみながら



倒れた栗の巨木を観察 以前、ガイドブックに載った



神秘の駒ヶ池①



神秘の駒ヶ池②



こんなに、標高の高い所に

あちこちある炭窯跡を観察 雪を利用して運んだようだ



池原山方面へ 雪景色も良いね



池原山分岐



池原山の黄葉・紅葉



もうすぐ足立口へ

◆自然観察









雪景色と黄葉・紅葉

なめこ

神秘の駒ヶ池